

夏休み中に機械工作部員が大活躍 塩貝亮雅くん 若年者ものづくり競技大会 敢闘賞

機械工作部の活躍が止まらない。まずは塩貝亮雅くん(3-1)だ。近畿予選を1位で通過し、広島で開催された第17回若年者ものづくり競技大会旋盤職種に出場した。

結果は敢闘賞(全国6位相当)だ。「できれば優勝、もしくは3位入賞を目指していた」と語る塩貝くん。しかし要となる2カ所の寸法のうち、1カ所を0.1mm削りすぎた。「こ

のミスが無ければ銀賞はいけた」と悔しがる。6位が取れた事を知った時は驚いたそう。「大きく減点されているので、まさか入賞できるとは思わなかった」と振り返る。3時間に及ぶ作業工程を覚えるのが大変だった。大会2ヶ月前か

ら毎週繰り返し返して部品を作る練習をした。「機械工作部に入らなければ得られなかった資格もたくさん取れた。先輩後輩とも仲良くなれた。自身の技量もあがり、頑張ってきて良かった」と笑顔で語ってくれた。



↑ものづくり競技大会で敢闘賞を受賞した塩貝亮雅くん
賞状の大きさが凄さを物語る
↑アーク溶接技能者評価資格証明書を手にする
山川 葵くん

↑ものづくり競技大会で敢闘賞を受賞した塩貝亮雅くん
賞状の大きさが凄さを物語る

↑アーク溶接技能者評価資格証明書を手にする
湖出 泰雅くん

湖出泰雅くん・山川葵くん アーク溶接技能者評価試験に 高校生として滋賀県初合格

湖出泰雅くん(3-1)と山川葵くん(3-1)がアーク溶接技能者評価試験に、高校生として滋賀県で初めて合格した。

試験内容は2枚の金属板を合計4層溶接し、欠陥なく美しく加工するというもの。この試験は社会人対象。試験会場は大人ばかりで緊張したという。

試験を受けるきっかけは、高2の夏。2人は、ものづくりコンテストの溶接部門で良い結果をおさめた。先生にもう少し頑張れば受かると後押しをもらい、チャレンジすることにしよう。

山川くんは「正直落ちたかな、と不安だった」と言い、湖出くんは「学科は余裕だったが、実技がギリギリ。合格と聞いた時はめちゃ嬉しかった」と笑う。

部活動での練習は、平日は毎日、週末は9時から17時まで。「長時間にわたって面倒をみてもらった」「就職につながる検定もいろいろ勧めてもらった」と振り返る。現時点で、塩貝くん含め、3人はジュニアマイスターのゴールド受賞が確定した。



杉本蓮くん ものづくりコンテスト近畿大会優勝

杉本蓮くん(2-1)は、8月4日、5日に大阪で行われた第22回高校生ものづくりコンテスト旋盤作業部門近畿地区大会に出場し、見事優勝した。「県大

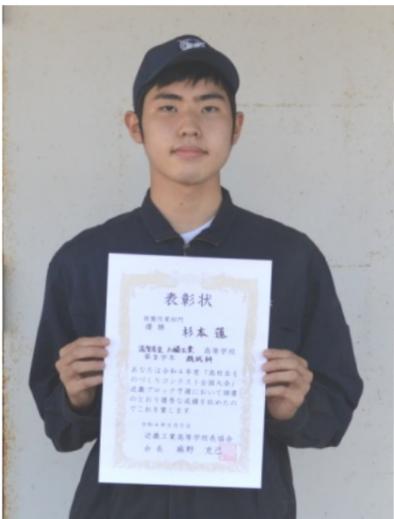
会よりは上手くできたが、緊張して無駄な動きが増えてしまい、時間をロスした。そして焦ってしまいミスも出た」という。標準時間2時間の競技で、19

分オーバーで完成した。時間減点はあったものの、精度減点が少なく、2位を僅差で抑えた。3年生を抑えての優勝は素晴らしい。しかし杉本くんは「近畿大会では自分の力だけではなく、先生や先輩のサポートもあって優勝できた」と謙虚に考察する。

今は11月12日から石川県で開催される全国大会に向け、練習を重ねている。全国大会では製作部のお題は当日発表される。事前発表だった今までと違い、臨機応変に対処する必要があるため、色々な長さや長さで練習をしているという。

「全国大会では、緊張しすぎず無駄な動きをなくして、早め早めの対応を心がける。期待に応えられるようにします」「寸法公差を絶対にはずさない」と強く心に刻み込んで、頑張りたい」と意気込みを語った。杉本くんの挑戦はまだ続く。(都)

↑近畿大会優勝の賞状を手にする杉本蓮くん



「存在感」
長田京介くん(2年2組)
「緑と空を背景にして目立っていた鳥居を撮影しました。」
NikonD3400 DX-VR 18~55mm



「青海」
斉藤元陽くん(1年4組 新聞部)
↓旅の途中、金沢の海にて撮影しました。

「咲いてるよ」
竹本桜輔くん(2年2組)
咲いている自分をアピールするかのようで鮮やかだったので撮りました。
↓使用機器：Nikon D60 AF-S NIKKOR 55~200mm



「火炎」
辻澤大和くん(1年2組)
「メラメラと激しく燃える力強さを感じて撮りました。」
OLYMPUS STYLUS SH-60

八工写真館

写真部3名と、新聞部1名の力作をご覧ください



編集後記

- RED面白かった! (山)
- スプラズットとしていたら寝不足で片頭痛になりました(健)
- モンハン楽しい (都)
- 80年代ユーロビートにはまる。なぜか楽しい (藤)
- スプラさせて下さい (部)
- 画像編集で遊ぶの楽しい(岩)
- あーあ 天然記念物食いてえなあ 敬具ッ (爪)
- 自動車免許取れるぞ! やったぜ! (竜)
- 目玉焼きに何かかける? 私は命 (川)

